



題字 萩原田 親

No. 605

2010/5/5

# 日中友好新聞

発行所

日本中国友好協会  
〒113-0033 東京都文京区湯島  
西神田1-1-1 東京女子大学3階

日中友好協会  
岡山支部

〒710-8230  
岡山県東区3-8-30 514  
TEL:0861272-3010  
郵便番号11番  
01250-0-3835

日中友好協会  
倉敷支部

〒712-8911  
倉敷市連島中央1-8-1 (宮地方)  
TEL/FAX:0860446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://izhong.web.infoseek.co.jp>  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp



## 日中友好協会倉敷支部 第2回中国文化节講座 司馬遷の生涯その4

日中倉敷支部支部長 大森久雄

### 史記について

史記は黄帝から武帝期までの中国通史である。全130巻52万6千500字(太史公自序)。  
つぎのように分かれる。



全130巻	
本記	12
表	10
書	8
世家	30
列伝	70

最後に太史公自序がある。祖先と自分の記録である。史記は500年前の孔子の春

秋を意訳して作られた。その編年の儒教の徳目を基準にした事件・人物の評価を避け、本記と列伝を組み合わせた編集を行い、後の正史の紀伝体との枠組みを創造した。記録は正確、適格で具体例に富む。臨場感あふれる挿話が人物の特色をよく浮かび上がらす。文末の太子公曰くとの遷自身の論評。評価が人間くさくて、辛辣で史記の特色になっている。記述は簡潔、簡明で示唆に富む。ときには文学的でさえある。李陵事件、宮刑を径た司馬遷の人間理解は鋭く深い。

史記 原文 訓読は明治書院の新釈漢文大系で、訳文は岩波文庫等で読める。

## 中国・福建省に行ってきました。②

真田紀子

一日目の夕食は、空港近くのレストランで「広東料理」でした。二人で瓶ビールを一本頼みました。20円ですから、300円ということですね、安いです。そこからバスで、173km移動して今夜の宿は泉州です。福州から泉州までの高速料金は300元(4500円)でした。

泉州に到着したのは夜10時ごろ、お風呂に入つてすぐベッドに入ったのですが、ホテルの前が幹線道路なので、音がすごくて寝られませんが、もしやと起きだし、窓を見てみるとなんと2重窓が開いていました。窓を閉めて何とか眠りにつきます。二日目の朝食はホテルのバイキング、おかゆを中心に

温かい野菜料理、肉料理やハム、果物とデザート、菓子などありますが、ヨーグルトやコーヒー、パンなどはありません。朝あらためてホテルを見ると、表にビジネスホテルと書いてあります。ですから、土産物を売る店もありません。フロントのある1階は、赤い提灯で飾られて、まるでお祭りのようです。



福建省の地図

## お花見に参加して

さいでん日本語教室月曜クラス

山上祥子



左から2番目の後の人が山上さん、赤井さんのお孫さんと帰国者の人達

さいでん日本語教室月曜クラスのお花見が、4月5日にありました。月曜クラスの皆さんはもちろん、赤井さんの娘さんとお孫さん達お二人、他教室からの便乗組、遅れてきた今岡さん親子、愛子さんのお腹のお子さんを含めると17名の集まりとなりました。

具にしたりして食す事、苦瓜のような苦味がなんとも美味しいのだと教えてくれました。広場の桜の木は数える程ですが、広場近くの沿道の桜並木は見事で、散策にはもってこいです。

その日は、絶好のお花見日和で、操山里山センターの広場には、すでに多くの家族連れが陣取り、私達も負けじと満開の桜の下にシートを広げました。

そこから歩いて程近いところにある恩徳寺の境内でも桜が楽しめます。お釈迦様の花祭りが近いということで、本堂の賽銭箱の横には御接待の甘茶が置かれており、有難く頂きました。中国にはこのような甘茶はないので、皆、珍しそうに、でも美味しいと言いつつ、美味しくいただきました。

赤井さんは各人にお手製の炊き込みご飯をくださり、受講生の皆さんも手作りの水餃子や揚げ菓子を振舞ってくれ、皆で美味しく頂きました。のんびり談笑していると、ふと気づくと、広場の斜面に咲いているたんぽぽの傍らで、受講生の皆さんがなにやらしているのが見えました。

思いがけない御接待と、時折吹く心地よい風に当たっているうち、ちよつとした小旅行気分になりました。日本語教室に来られていない人も参加できるような、日本語教室全体でのお花見もいいたいのかなどと思いつきながら、帰路につきました。

驚いて尋ねると、たんぽぽは妙めたり、餃子の袋が...



# 第80回日中文化講座

「いまの中国をどう見るかー映画・漫画を通してー」

石子順氏 講演 ⑧

もう一つ最近のニュースによると、重慶大爆撃というのが映画化されようとしています。重慶大爆撃というのは、太平洋戦争前から日本軍が爆撃して、何十回と爆撃して、2万人以上の人が亡くなっているんです。

中国は防空壕の意識があまりなくて、山の洞窟なんかに逃げ込んでいて、人が一杯入ったために酸欠でその場所で2千人ぐらいが死ぬという事件も起きています。重慶に行くと、重慶の市街地で一番爆撃が激しかったところに記念碑が建っています。また重慶の山の間に、山をくりぬいた所がそのまま商店になつていたりがあります、それはもとは全部防空壕だったんですね。

東京大空襲、ロンドン大空襲、ベルリン大空襲それからドレスデン大空襲などいろいろ映画になつていますが、重慶大爆撃だけまだ映画化されていません。だから、我々は重慶を撮るんだということです。

もう一つ上げたい映画が「花の生涯ー梅蘭芳」です。

梅蘭芳は日本に三回ぐらい来ています。文革の前に(1962年ごろ)亡くなっている。

この人がもし文革のときに生きていたら、どういう目にあつたのかな、と思います。この人が有名なのは、日本軍の支配下において、一切京劇をやらなかつた、ということなんです。これは事実なんです。そして、レオンライという香港の俳優が、中年以上の梅蘭芳を演じています。

監督はさすれば、わが愛 覇王別姫で有名なチェンカイコー(陳凱歌)です。

チェンカイコー監督は今から、10年以上前に「覇王別姫」でレスリー・チャンを主役にして、京劇の二人の俳優の半世紀を描きました。レスリー・チャンがもし生きていたら、梅蘭芳にチェンカイコーが指名したかも知れないと思います。レスリー・チャンは03年の4月1日に投身自殺してしまつたので、残念な事だと思つています。レスリー・チャンは香港大スターで、ずっと大陸に目を向けていて、大陸の映画に一番最初に出た人で、それが「覇王別姫」なんです。



花の生涯ー梅蘭芳

その思いがあるから、梅蘭芳を撮りたくて、チェンカイコーは日本に来た時にお話を聞いた。やつと念願がかなつて、肩の荷を下ろした感じだと言つてました。文芸映画としては、中国では大ヒットしてまして、監督は気をよくしていたようです。

この映画は、1920年代から1945年まで、日本軍が戦争に負けるときまでを描いています。戦後は描いていない。梅蘭芳の髭の問題、愛人がいたという問題、愛人は京劇の男役をやる女優さんで、それをチェンカイコーの主演女優が演じています。これは中国の心を描いているんです。中国では京劇が、かに人々の間に広がっているか、京劇によって人間の楽しみが左右される。今、若い人の間では京劇は広がっていない。そうだが、ちよつと年配の人だったら、すぐに京劇を口ずさむんです。 つづく

## 仙台・北陵クリニック事件ー守大助さんは無実ー

4月3日(土) 14時から、国民救援会岡山支部主催の 仙台・北陵クリニック事件ー守大助さんは無実ーと題する学習会があり、36名が参加しました。

日中岡山からは、竹内理事、小林事務局長、西森・稲葉理事、日中倉敷からは山縣理事が参加しました。次に参加した西森理事の守大助君あての手紙と梶尾さん(梶尾さんの感想は前号で紹介)の感想文を紹介します。

今日、大助君のお母さんとお父さんにお会いしましたよ。

岡山県内で3か所 仙台、筋弛緩剤えん罪事件」の学習会がありました。開会3分前に会場に入つたら空席は前から2列目に1つだけ！そこに座りました。

知つた顔は5人程で、知らない人ばかりでいっぱいでした。後から後から参加の人があり、主催者はイスを運びいれ、最初は話し声やら、物音が気になるほど。土曜日の午後なの

で、仕事帰りの人はやはりギリギリ参加になるのかな？

お母さんは微笑みを浮かべた顔つきながらも凛とした態度で、本当は疲れているのだろうに、息子の無実をしっかりと訴えられ、それだけに、私は涙が出た。私にはありませんでした。

お父さんは、最初からなかつた事件を元警察勤め人らしく、理路整然と述べられました。大助君のネクタイをしめて、大助君が作った靴をはいて、三人で訴えに参りました」と...

## 友人 戴保安を偲んで洛陽の旅

河井伸士

3月26日より31日まで、2年前に亡くなられた戴さんの墓まいりに、一行15名で行つてきました。

戴さんは元洛陽市の職員で、その後旅行社をつくりそこで我々一行はたびたびお世話になり、岡山市とは友好都市という事で深いつながりがありました。

現在世界の粗鋼生産は中国がダントツの45%をしめています。40年前八幡製鉄、富士製鉄などの技術を学ぶ中国視察団が約1年間にわたり来日した時、戴さんは通訳として同行しました。

洛陽では戴さんの納骨をしているところにおまいりし、白馬寺、龍門石窟をまわりました。5月に開かれる上海万博の工事のため交通渋滞には悩まされました。

初めて参加した人も大勢いたらしく、素朴な質問や、積極的な宣伝に取り組みのないのかと、無罪を確信した、再確認したなどなど長く支援している人達の声です。医療関係者の具体的な質問や疑問も出され、無実がさらに検証されたような学習会の中味でしたよ。

再審にむけた行動が広がっているよ！  
岡山県 総社のおばちゃんより  
2010年4月3日  
西森文子



右 戴さんの納骨をしているところへおまいりました。

左 西森さんの手紙のイラスト



次回の新聞送付作業は5月21日(金)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

尾林井内和  
梶小白竹